

2NUTNULNULSONULNULNULGETXNULNULPETXNULNULETXNULNULSTXNULNULNUL·NUTNUL·NULNUL
@ETXNULNULSOHNULNULNULGETXNULNULPETXNULNULETXNULNULSTXNULNULNUL·NUTNUL·NULNUL
HEOTNULNULETXNULNULNUL·NULNUL·EOTNULNUL·NULNULEOTNULNULNUL6ENONULNUL?ENONULNUL
PADENONULNUL·ENONULNULNUL+NENONULNUL·ENONULNULGSACKNULNULACKNULNULNULhACKNULNULqACKNULNUL
SACKNULNULBETNULNULNULETXBETNULNUL
BETNULNULUBETNULNULBSNULNULNUL·BELNULNUL7BETNULNULEOTBSNULNUL NULNULNULOBSNULNUL
XBSNULNUL)BSNULNUL
NULNULNUL·NULNUL·BSNULNULN NULNULVTNULNULNULx NULNUL·NULNULヅ NULNULFFNULNULNULNAK
NUTNUFES
NULNULY
NUTNUL
NULNULNUL「
NUTNUL」
NULNUL·NULNULSONULNULNUL1VTNULNUL<VTNULNULDELVTNULNULSINULNULNULヤVTNULNUL'VTNULNUL
\$EFENULNULDLENULNULNULVFEENULNULcFEENULNUL=FEENULNULDC1NULNULNUL·NULNUL·NULNULE
NUTNULDC2NUTNULNUL·NUTNUL·NUTNULヤ
NULNULDC3NULNULNUL#SONULNUL,SONULNUL`SONULNULDC4NULNULNUL┘SONULNUL┐SONULNUL
STNUTNULNAKNUTNULNUL\STNUTNUL_eSTNUTNUL(STNUTNULSYNNUTNULNUL7STNUTNUL·NUTNUL
4DLENULNULETBNULNULNULDELDLENULNUL·NULNUL±DLENULNULCANNULNULNULDLEDC1NULNULEMDC1NULNUL
TDC1NUTNULEMNUTNULNUL·NUTNUL·NULNULヤDC1NUTNULSUBNUTNULNULGSDC2NUTNUL\$DC2NUTNUL
gDC2NULNULESCNULNULNUL-DC2NULNUL才DC2NULNUL·NULNULESNULNULNULMDC3NULNULTDC3NULNUL
.DC3NULNULGSNULNULNUL·NULNUL DC3NULNUL<DC4NULNULRSNULNULNULwDC4NULNUL~DC4NULNUL
サDC4NUTNULUSNUTNULNULヅDC4NUTNUL/DC4NUTNULSTPXNAKNUTNUL NUTNUTNUL NAKNUTNULDENAKNUTNUL
]NAKNULNUL!NULNULNULclNAKNULNULmNAKNULNUL(NAKNULNUL"NULNULNUL>NAKNULNULカNAKNULNUL
□NAKNUTNUL#NUTNULNUTACKSYNNUTNUL
SYNNULNULR SYNNULNUL\$NULNULNULY SYNNULNUL^SYNNULNUL.SYNNULNUL%NULNULNUL/SYNNULNUL
ウSYNNUTNUL·NUTNUL&NUTNULNULSOHETBNUTNULFEETBNUTNULAETBNUTNUL'NUTNULNULHETBNUTNUL
QETBNULNUL·NULNUL(NULNULNUL·NULNUL·NULNULヤETBNULNUL)NULNULNUL□ETBNULNUL·NULNUL#CANNULNUL
*NUTNUTNUL*CANNUTNUL3CANNUTNULtCANNUTNUL+NOTNUTNUL{CANNUTNUL·NUTNUL·NUTNUL,NUTNUTNUL
·NULNUL·NULNUL·NULNUL-NULNULNUL·NULNUL·NULNUL·NULNUL.NULNULNUL CANNULNULBELEMNULNUL
NEMNULNUL/NULNULNULUMNULNUL^EMNULNUL·EMNULNULONULNULNULヤEMNULNUL才EMNULNUL·NULNUL
<NUTNUTNUL·EMNUTNULFEESUBNULNUL<SUBNULNUL奉魂の場NUTダミーNUTダミーNUT眠りの場NUL満ちあふるる巫力をかぎつけて

集った亡者の類を全て討ち
神聖なる地の穢れを濯ぐべし。NUL神聖なる気が満ちる氷窟。
古の巫術士が自らを封じ
深い眠りについた地。NUL水陰の里NUL村落にはびこる土蜘蛛の尖兵。
これを率いる六匹の頭目を討ち
穢れ無き清流を取り戻すべし。NUL川の支流が流れ込む山間の村。
清冽なる水の気を崇める人々が
密やかに暮らしていた。NUL霊宝院NUL朝廷の礎である白珠を守るため
夜陰に乗り忍び込んだ
白銀人を全て討ち破るべし。NUL深々たる山中に佇む宝物殿。
朝廷の礎である白珠が
人知れず安置されている。NUL千仏御堂NUL御堂の内に逃げ入った
憑依の術を操る白銀の類を
全て討ち破るべし。NUL都の内にある御堂。
静寂に包まれた堂内に
あまたの像が立ち並んでいる。NUL魂縛の石牢NUL暗い石牢の底に、亡者を
引き寄せる妖しげな気が満ちる。
その元凶、探って参れ。NUL苔の内に埋まる古き石牢。
朝廷に背いた罪人の魂を縛り
星霜を経て浄化する地。NUL霞の溪谷NUL迷雾に紛れて溪流を下り
結界破りをたくむ白銀の
船団を、全て打ち砕くべし。NUL深き霧の内に沈む渓谷。
妖鬼の侵攻を防ぐため
強固な結界が張られている。NUL白虎殿NUL都に雷の雨を降らせんとたくらむ
石牢より放たれた罪人の亡霊を
討ち破るべし。NUL都の西方、白虎の気を統べる地。
殿上と四方の楼閣により
白虎の気が祀られている。NUL火焰の祀り場NUL火の気を喰らい瞬らんとする
おびただしき数の土蜘蛛の卵を
全て碎き、淀みを祓うべし。NUL炎の神を祀る火の山。
古の昔、作られた巨大な像が
荒ぶる火の気を治めている。NUL鬼喰い松NUL土蜘蛛の巢穴の奥深くへと
潜入した仲間を守る為、白銀が
放つ蠱毒を食い止めるべし。NUL千歳を生きる松が生える地。
松の元に空いた穴は
土蜘蛛の巢窟へと繋がっている。NUL紅蓮の都NUL燃え盛る都より逃れるため
地に落ちた大船の周りに

51 張られた白銀の結界を打ち砕く。NOT紅蓮の炎に巻かれ
52 崩壊の途にある都の片端。NOT蓮華の池NOTあまたの眷属を率いて
53 都落しをたくらむ土蜘蛛の長を
54 討ち破るべし。NOT蓮の咲き誇る静かな池のほとり。
55 苔むした地藏たちが立ち並ぶ
56 浄土へと繋がる神聖な地。NOT底津国NOT死に際においてなお
57 醜く足掻く土蜘蛛の長に
58 死をもたすべし。NOT土蜘蛛が棲まう暗き穴の底。
59 無数の土蜘蛛たちが
60 群れ潜んでいる人外の世界。NOT封珠院NOT宮中の奥深くへと
61 入り込んだ賊を討つため
62 疾く宮内へと参られよ。NOT都の中心、宮中の奥深く。
63 立ち入ることを許された者は
64 ごく僅かしかない。NOT幽明の深殿NOT道を閉ざす鍵である
65 二匹の番人を解き放ち
66 現世へと再び舞い戻るべし。NOT岩戸の内に佇む異世の深殿。
67 魂の試練を乗り越えた者にのみ
68 現世へと繋がる道が開かれる。NOT奈落の淵NOT妖光に惹かれ彷徨う半身を
69 導き、現世に繋がる深殿へと
70 至る道を進むべし。NOT魂を無くしたモノたちが
71 群れ蠢く仄暗き川のほとり。NOT御霊の通い路NOT異世へと繋がる門を開き
72 亡魂を汚す二匹の妖鬼を
73 在るべき世界へ追い遣るべし。NOT都より遥か西。
74 あまたの墓石で埋め尽くされた
75 死人の魂が集う場。NOT人外の都NOT亡者となり果てた幾千の都人。
76 その報われぬ魂を解き放つため
77 全て討ち滅ぼすべし。NOT打ち捨てられし都の跡形。
78 亡者の血肉で築き上げられた
79 怨念の塔が立つ。NOT妖樹の塔NOT石となり果てた渡辺綱を
80 救うため、怨念を束ねる
81 骨の塔を砕くべし。NOT烈しき雷を生み出す
82 禍々しい妖樹がはびこる溪谷。
83 要害となり数多の妖鬼が巢食う。NOT氷仏参道NOT妖鬼を滅ぼし、氷の内に
84 囚われた公時を救い出すべし。NOT極寒に閉ざされた遥か北の山。
85 陰しい山道の先には
86 凍りついた土地神の骸がある。NOT骸の檻NOT屍に埋もれ魂を縛られた季武を
87 救うため、あまねく憎しみを引き
88 寄せる罪人の魂を浄化すべし。NOT死した都人の怨念が集う石牢。
89 屍と淀んだ気に満ち
90 もはや内に生けるものはいない。NOT無音の里NOT石と化した人々の
91 報われぬ魂を喰らう猩々どもを
92 全て討ち滅ぼすべし。NOT豊かな水の気がとだえ
93 何もかもが石となり果てた村落。NOT蟲哭きの湖NOT湖に施された封印より
94 解き放たれつつある巨虫を
95 再び昏き水底へと封じ直すべし。NOT氷に閉ざされた湖。
96 堅い封印が施され、水底には
97 巨大な妖鬼が封じられている。NOT常闇の淵NOT都を覆いつくさんとする
98 闇の霧の元凶を絶つため
99 獐悪なる鰐を討ち滅ぼすべし。NOT深き闇に閉ざされた地。
100 妖鬼の力を強める
101 黒い霧に満ちている。NOT天涯の海NOT白銀人の操る
102 浮き船の群れを打ち砕き
103 都への侵攻を阻むべし。NOT大地より遠く隔たった
104 黄金に色づく西の空の果て。NOT月の御座NOT束ねた月光の力を用い
105 都への星降りをたくらむ
106 白き巨妖を討ち滅ぼすべし。NOT遥かそびえる神山の頂。
107 月の光りの力が最も強く
108 神がすまうと言われる場所。NOT殺生石NOT束ねた月光の力を用い
109 都への星降りをたくらむ
110 白き巨妖を討ち滅ぼす。NOT遥かそびえる神山の頂。
111 月の光りの力が最も強く
112 神がすまうと言われる場所。NOT名月NOTあまたの報われぬ魂が
113 わだかまる地にて
114 身の内に炎を宿す鬼を浄化する。NOTかつて処刑場だった川のほとり。
115 おびただしき血を吸ったことで
116 鬼のすまう地となった。NOT天の麓NOT清明の命を救うため
117 その身を蝕みつつける白珠を
118 取り出だし、白き巨妖へと還す。NOT常人が足を踏み入れることのない
119 清廉な氣に満たされた高山。

120 晴明の住む庵がある。**NOT**桜花舞う参道**NOT**四天王と落ち合うべく
121 桜咲く参道をたどり
122 都を望む台へと向かう。**NOT**桜咲く深山の中腹。
123 参道を進んだ先には
124 都を望む楼台がある。**NOT**疾駆け**NOT**限られた時の内に
125 最奥にある鳥居をぐり
126 折り返して戻るべし。**NOT**ダミー**NOT**射返台**NOT**白虎像を護るべく
127 妖鬼が放つ巫術を
128 より多く弾き返すべし。**NOT**ダミー**NOT**妖涌洞**NOT**巫力の減りが激しい地にて
129 より多くの妖鬼を討伐したのち
130 元の場所まで戻るべし。**NOT**ダミー**NOT**白銀逃散**NOT**限られた時の内に
131 村中を逃げ惑う
132 全ての白銀人を討伐すべし。**NOT**ダミー**NOT**籠殿上**NOT**逃げ場のない部屋の中で
133 許しの時がくるまで
134 妖鬼の巫術から逃れ続けるべし。**NOT**ダミー**NOT**橋合戦**NOT**桜の大木を打ち砕かんと
135 迫り来る妖鬼の大群を
136 橋上にて食い止めるべし。**NOT**ダミー**NOT**草打**NOT**限られた数の妖鬼を
137 地に打ちつけ、里中に
138 生い茂った青草を滅すべし。**NOT**ダミー**NOT**朱箱の深殿**NOT**限られた時の内に
139 深殿に置かれた全ての朱箱を
140 見つけ出し、打ち砕くべし。**NOT**ダミー**NOT**九十九鳥居**NOT**限られた時の内に
141 立ち並ぶ全ての鳥居を
142 打ち砕くべし。**NOT**ダミー**NOT**千鬼討伐**NOT**尽きることなく溢れる妖鬼を
143 ただひたすらに、滅し続けるべし。**NOT**ダミー**NOT**箱当**NOT**示される手本に従い
144 破壊すべき箱のみを見極め
145 打ち砕くべし。**NOT**ダミー**NOT**禍津壁**NOT**限られた時の内に
146 次々と現れる禍々しき壁を
147 より多く打ち砕くべし。**NOT**ダミー**NOT**御霊取り**NOT**限られた時の内に
148 天空より飛来する御霊を
149 より多く受け止めるべし。**NOT**ダミー**NOT**ダミー**NOT**ダミー**NOT**ダミー**NOT**舟打**NOT**橋上より妖鬼を弾き飛ばし
150 流れ来たる船の上から
151 川面へと妖鬼を打ち落とすべし。**NOT**ダミー**NOT**ダミー**NOT**ダミー**NOT**ダミー**NOT**神水鳥居**NOT**鳥居を打ち砕くことなく
152 水面に触れることもなく
153 全ての鳥居をくぐるべし。**NOT**ダミー**NOT**陰妖送り**NOT**でき得る限り少ない打撃数で
154 異世へと繋がる門の内へと
155 陰ノ妖を導くべし。**NOT**ダミー**NOT**異世送り**NOT**限られた時の内に
156 次々と現れる妖鬼を
157 異世へ繋がる門に送り込むべし。**NOT**ダミー**NOT**百鬼討伐の地**NOT**奥深き山縁に囲まれた
158 百鬼が集うという古の霊穴。**NOT**奥深き山縁に囲まれた
159 百鬼が集うという古の霊穴。**NOT**